

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和06年06月20日(木)

事務事業		中学生補習学習運営事業		担当課	学校教育課	担当係	教育指導担当	管理番号	72232	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	共に学び成長が実感できるまちづくり	根拠法令 個別計画等	社会教育法第5条					
	小項目	1	「生きる力」を育む学校教育の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		学習に不安を感じ、塾に行っていない生徒の学力を向上させるため、中学校学習支援員や、大学生のサポーターが放課後等の時間に補習学習を行うものである。								
目的 ※何のために		中学生の中で、経済的な理由で通塾できない生徒を中心として、学習に不安を感じている生徒の学力を保障するために実施する。								
対象 ※誰・何を対象に		市内市立中学校の生徒のうち、学習に不安を感じている生徒で受講を希望する生徒								
手段 ※どのように		各中学校の実態に応じて補習を実施する。該当校担当教員の計画により、中学校学習支援員及び大学生の学習支援サポーターが補習の支援を行う。								
成果 ※何を求めるか		学習に不安を感じている生徒の学習意欲及び学力を向上させ、進路指導の充実に資する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( 非常勤職員 )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	10	教育費	3	中学校費	2	教育振興費	中学生補習学習運営事業	6,001,072
本事業の 主な業務		・大学生学習支援サポーターの派遣(募集・調整)					・			
		・中学校学習支援員の配置					・			
		・各中学校で実施する補習学習の実施日及び派遣人員の調整					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

## 2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		学習支援サポーターの募集 補習学習の実施 報告書 の作成中学校学習支援 員の配置	学習支援サポーターの募集 補習学習の実施 報告書 の作成中学校学習支援 員の配置	学習支援サポーターの募集 補習学習の実施 報告書 の作成中学校学習支援 員の配置	学習支援サポーターの募集 補習学習の実施 報告書 の作成中学校学習支援 員の配置		
事業費	予算(現額)	6,433,000	6,625,000	0	0		
	決算額	5,610,739	6,001,072	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	3,312,000	3,706,000	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	2,298,739	2,295,072	0	0	
人件費	従事職員数(人)	0.38	0.08		0.00		
	人件費相当試算※	2,990,432.00	640,814.00		0.00		
総事業費試算		8,601,171	6,641,886	0	0		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	補習学習実施回数	目標値	回	870.00	900.00	900.00	900.00	900.00	900.00
		実績値		1,246.00	1,304.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			全中学校10校、年間90回、計900回を目標値とする。 / 実施回数					
	実績値の算出式								
活動指標 2	学習支援サポーター派遣述べ人数	目標値	人	270.00	270.00				
		実績値		0.00	0.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			1回あたり3名で270人を目標値とする / 延べ人数					
	実績値の算出式								
成果指標 1	補習学習1回当たりの参加生徒人数	目標値	人	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		実績値		6.65	5.10				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各学年10人を目標値とする / 延べ参加人数／実施回数					
	実績値の算出式				8286／1246				
成果指標 2	補習学習参加後に学習意欲が向上した生徒の割合	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		93.40	94.27				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			100％を目標値に設定する / 受講生徒アンケート結果					
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	補充学習の実施回数は、目標を大きく上回ることができた。 学習支援サポーターの派遣を行うことができなかった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	補充学習1回あたりの参加生徒数が、前年度を下回っている。 実施後の振り返りアンケートでは、9割以上の生徒が効果を実感している結果となった。
			評価者 課長補佐兼指導主事 井上 雅彦

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	ICTを活用して補充学習の出欠の記録やアンケートを行うことができた。生徒の学習内容についても、タブレット端末の活用が進んできている。
			評価者 課長補佐兼指導主事 井上 雅彦

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	中学生補習学習運営事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導担当	管理番号	72232
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		今年度は参加者全体の43.2%が通塾していない生徒であり、3年生の生徒については55.6%の生徒が通塾していない生徒であった。振り返りのアンケートでも、90%以上の生徒が、本事業についてよかったと回答している。実施回数も安定しており、多くの生徒の学習支援が行われており、今後さらに内容が充実していくように指導していく。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	次長兼学校教育課長兼指導主事兼教育研究所長 染谷 明信				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

